

ダイマス × マスピー のゆるゆる対談

ダイマス(D) [遠藤幸一]

1988年ユーチューブプロジェクト入社、現在も勤務中二児の父
2000年に社内レーベル、代沢レコードを立ち上げ、
様々な企画運営を行なう。自分でダイナマスターを名乗る思



【代沢レコードの始まり】

- M: 代沢のレーベルが始まったのは2000年ですね?
 - D: 2000年だな。こころは世の中的に、2000年のカセットとかが流行ってて…。
そういうのはインディーレーベルでこそらなくてはいけないんじゃないかと思って、最初3枚目出してみたんですね。
 - M: 500円シリーズですよねー一番最初のリリースって誰でしたっけ?
 - K: タト(TEMOVSKY)ですか? 000 TELESAでしょ? あ、カスタムス!!
 - D: マスピーの代沢は何からだ?
 - M: 個人2002年まではPOLYSICSを担当してたので…。
それで2002年の秋ぐらいにボリがキューンにいて3枚目のアルバムが出来たんですよ。そのタイミングで私が担当を離れて、それで何を探さないかなって…。
そのタイミングで、なんかちっこく面白いバンドでなく「カボンボンボン」といって…。
で、あれですね…ミオラックスがいて、格好がいい…。椿原四重奏をしばらくやらせもらったのが最初ですかね。あ! コンドルが最初か!!
 - D: CONDOR44な。
 - M: ところで、代沢エンビの音源を通して聴いたんですけど…。
あ、どうだった?
 - M: 新録のものもあるし、僕がない頃の作品も多いので、結構、馴れきのものが多かった…っていう印象ですかね。
 - D: 初聴きとか別にいいから、中身どう感じたのよ。
 - M: なんか真面目にひとつ、ふつと思ったことがあって、当たり前のこと言いますけど、ライブ/LIVEが好きなん人、バンドのライヴが好きなん人っていうのが、なんて言うんだろ、ミュージシャン側もこれを好きで聴いている側も、全体的に同じところにいる感じがすごいました。
 - D: ああああ、フィアンスはわかるけど、なんかこう、一歩くらい駄目な気がするな?
 - M: 代沢の一番最初の富材みたいなのを藤原さんが作ってた時に、僕はまだ代沢が関わってなかったんで、傍で見てただけだったんですけど、代沢とはなぜや? みたいな感じに、「うたとギター」ですと、「うたとギターのレーベル」なんです。
 - D: その通りです。そんなんです。
 - M: って書いてあって…それで、当たり前のことだよなーと思って。
 - D: はい、よく気が付いた(笑) うそなんだよ。
 - M: 世の中の9割分くらいのレーベルはそうですね。
 - D: そうだね。オレもね、昨日もう笑った。笑 ものすごく普通のことを、普通にやろうとしてるんですよ。ロックの成り立ちとか、バンドの普通的な編成でいうと、やっぱこうなっていくべき、別にそれで何が悪いの? っていうことだと想うんだよね。このコンビの収録パンフレットを見てみて。(ま、そういうことだよね) っていう。
だからマスピーが言ったことは、正しい意見なんですよ。非常に正しい。よく気付いた

マスピー(M) [増本康祐]

1997年から2006年までユーチューブプロジェクト/代沢レコード勤務
無駄な話をさせたら右に出るものがない、コワイぐらいのおしゃべり好き
現在はパーフェクトミュージックのA&Rとして神聖かまってちゃん、
櫻井翔、吉田豪、吉田拓郎、吉田洋一、吉田和哉、吉田和哉、吉田和哉



- 底にあるものは大して変わらないよね。

だし、なんか所謂ソリーニーとして、別にすべてがきれいにリンクして枝分かれしてるわけではないと思うんですけど、なんというかひとつのカテゴリーの中に、まあそのカテゴリーっていうのがすごく大きなカテゴリーってことなんだとと思うんですけど。

君、カタナ好きだね。笑

言ったら今でも、ロックミュージックってところの、とってもベーシックなところのような気がするんですよね。

そうだね、でも普通のことやってるって、普通にピースのバンドがいて、それがなんでも良いってわけじゃないん? とえこの一ページからリリースする人としない人がいて、そこを分けるものっていうのは客観的にはなんだらうなって。

なんか言葉にならないことなんだけ?

今、時代的に、まったく音楽をやるってことがすごく難しくなってて思うんです。ひっちゃめっちゃやりたかったらどうも世の中の目引きやすいし...、フフそれはお前か。笑。それはパーソナル(ト)ミュージック)での。

結果、もうなまでますけど、そこを狙ってるわけじゃないんでよ。なんかむちゃくちやなってやっぱり面白くなつてないってでしかない。でも別にそれとの対比ってわけではないですよ。実際に音楽やっててすごく難しいじゃないですか? なんか真面目に音楽やってる人が一番報われたい時もあると思うんです。難しいな、何でたららうんだらう。

うーん、他の音楽を真面目にやってる人が生きにいくも、実は今あんまりってなくて、これからどうして行くって言めてても、まあ良いけれどいいんじゃないの? って思はんだけね。やさぶみんが良いって言ったものも残ってないし、なんかしゃべくなぐりって感じなんか、マーケットを下落させて言われてるけど、それでも20年前よりCDは売れてるし。

20年前~92年くらいかな。あー。バンドブームが終わって、ライブハウスに人がいなくなつて代っていつのが明治時代に前であって。

俺の感覚では80年代だってライブハウスに行く人少なかつたよ。いまより圧倒的に軒数もすくないし。80年代だよ。

そうそうそう。ロックバンドは1万枚以上売れるやいけないって言われた時代だから、マジ。今でどうなんですか、一般論としてライブハウスに行った時に、ビュアで良い感じにやっているバンドってまだいるんですねか?

ていうか何をもってビュアって言うの? 笑

うーん。

でも今からバンド作ってやる人っていうのは、ビュアな感じなんじゃないの?

ゲームだってネットでずっとスポーツだって、好きになるとこの色んな選択肢はあるけど、僕(たち)もやりたいんだって」言っていたんだって。ビュアですよ。

ダンスだったらビデオで練習できるけど、音楽はもうもしか。スタイル代も高いけどお金払って練習しますっていう人達っていうのは好きでやっている人なんだもん。ビュアですよ。

デモテープ、ネット】

BAZRAのリリースってデモテープがきっかけでしたよね?

BAZRAはそうだね。

CDR買って聴いて良かったみたいのも多かったですね。

橋崩重奏曲。

ちょっと今肌感覚でほんに思ってるのは手前味噌でけど、神聖かまってちゃん以降、ネットを介した話題の伝播力とか広がりがついてるの、別にかまってちゃんがきっかけってわけじゃないんですけど、すごい早くなってる気分します。

そうそう、そうねーわかるわかる。

某レコード店では、日中ネットめぐら見て、何かいいバンドないか、いたら「録を作てウチで売りませんか?」っていうスタッフいるんですね。

それマスピードなあうちこいた頃の、1日中ネットばっか見て仕事してるんだかしていいなんか全然わかんねーみたいな、笑

それで今までちゃんとねえ、見つけたようなもんですけど、

4月にいぶんくらいからねえ、失われた3年半はどうすればいいんだよ。笑

- D: ライブハウスでやってる人たってことでもあるよね。

M: お、戻ってきた!最初の話。それはやっぱりすごいと思ったんですよね。

D: バンドのメンバーが集まっちゃうたらもうできちゃうみたいなことをやってるだけだもんね。それはすごいと思います。

M: なんかまとまってきたねー。

【レベルの意味】

M: バンドで何でも出来る時代にあって、自分たちでなんでもやってしまうってそういうのもすごくあると思うんですけど、そこに一枚、人が付くことによって、尚まる価値っていうものもあると思うし。

D: 君は今レベルの必要性という話をしようとしているのか?笑。2010年代以降のね、レベルへの想いっていうのはどういうところにあるんだろうね。デモテープ送ってる人はみんなCDになってるね。デモCD、CD作りたいですって言われても、もうでてんしゃんみたいないな。あんしゃん。笑

M: リリースしようって説うか迷わないか、その辺の線引きって何なんでしょうね。

D: どうですか?

D: うーんわかんない…ちょっと好き、から、けっこ好きに変わった瞬間かな。
そこがやっぱ大事だな。

M: でもレコード会社の経営としては、やっぱスピアに数字をみていくじゃないですか。
まあね、でも出していいのかわかなければねーじゃん。

M: いや、そうなんですよ。だから、「これってどうなの?」って言われても
どーもどーも「出てねーじゃん」とか。笑

M: ま、もちろん、バンド全体に、ものすごい、なんかも爆発力みたいのがあって、
それをとつぱらったところでいいようっていうのはあるとは思うんですけど…。

D: わかんないね、ははは。

M: どうなんですか?代表の歴史でいうと、CDを出そうっていうところの線引きというか、
あ、でもそれは一貫してってることですね。遠藤さんの中で、「けっこ好き」に
変わった瞬間っていう。笑

D: 笑

M: 「けっこ好き」っていうのじゃなかったのもいるってことですね?入口としては。

D: あるあるあるそれは、ウチのスタッフが「いたい好き」っていう時。

M: 笑。ま、一派は入ってるってことですよね?その時点。

D: でも、嫌いなのは対立やでない。俺、「けっこ好き」なんだけど、例えば
スタッフが「ものすごく好き」だったら「わかった。出そう」みたいな感じだね。
代表カード過去のリリース作品ごとに「ものすごくないものは入っていない」
あと俺がすごく好きなんだけど、でも、代表じゃなくて、他のレベルでやってる
バンド多いでいるもん。代表カードのフィルターに通かなかついてこと
なんだよね。わかりやすく言えば、POLYSICSはそうじゃん。

M: 勝手にしやがる? そしたらどう違う。そこには何かあるんだよね。「これはそうじゃないよ」
みたい。それががないと、ダメなんじゃないかな。勘みたいなもんだけ。

M: 代表がステータスで時々、くるりとかSUPERCARとかNUMBER GIRLが出てきた時代で
アジョンカはその後ですよね。

D: 戻り返すと、10年も10年も活動し続けて、残ってるバンドはとても少ないね。

M: うん。実際にこの中でコンビ収録バンドで解散したのはどれくらいですか?

D: 椿屋、ショット、KAREN、スバルタ、だね。

M: それ、よく考えたうございですね。

D: そうだねー、あー、ほんとやってる方の方がいいや。すごい、驚いた。

D: で、君最後に言い残したいことは何なんだ。

M: 僕は何でないですか?笑 遠藤さんは何かないですか?

D: そうだねー…やっぱこれのいいところは、patoniaとかのこの帝国とかが
入ってるとこだよな。patoniaでしてもこの帝国にして、「らしい」みたいな
感じがあり、それがすごく面白かったよね。「そうだよねー」みたいな。

M: 入ってたら結構かわいくってことですか?

D: いやいやいやいや、「そういうことなんじゃん」ってことだよ。

M: でも動作性としては、似たようなバンドを取りにいってるわけじゃないじゃないですか?

D: そうだね。

M: 集めたら、けっこ近郊かな?みたいな?近かったは違うな。

D: 言いたいことはわかるよ。飲み会で意気投合してお互い名乗りあってみたら
「え、同じ道の出だつたんだ!」みたいなね。そういうこと。

M: えっと、これって県会のコンビだったんですか?

D: まあ、県くらいでいいじゃね。村はやね。